

# 日本原子力産業協会

# 2018年の誓い

2018年1月9日

日本原子力産業協会が「2018年原子力新年の集い」という会合を開きました。そもそも日本原子力産業協会とは。。。。

一般社団法人  
日本原子力産業協会  
Japan Atomic Industrial Forum

会員数：424社

(参考資料①)

## Mission

私たちは、  
原子力技術が有する平和利用の可能性が最大限に活用されるよう、  
その開発利用の促進に努め、  
将来世代にわたる社会の持続的な発展に貢献します。

## Vision

原子力をもつ**価値の向上**  
原子力をもたらす**恩恵の共有**  
原子力に対する**信頼の確保**

## Value

**客観性** 原子力事業当事者ではない第三者性を活かした立場から、  
原子力と社会の諸問題について、  
長期的かつ俯瞰視点に立った活動を行います。

**多様性** 多種多様な会員構成により  
異分野・異業種間の相互交流が可能であり、  
原子力産業界の代表として、多様な意見を踏まえた  
先見性のある多様な活動を行います。

**国際性** 長年にわたり培ってきた  
海外関係者・機関からの高い認知と信頼のもと、  
グローバルな視点に立った国際協力活動を行います。

この日本原子力産業協会の会長である今井敬氏の  
「2018年原子力新年の集い」における挨拶から、  
原発を進めたい人たちが何を考えているのか？  
ちょっとだけ見ておきましょう。

参考資料

①原子力産業協会HP「経営理念」  
<http://www.jaif.or.jp/about/philosophy/>  
②原子力産業協会HP「日本原子力産業協会「2018年原子力新年の集い」今井会長挨拶」  
<http://www.jaif.or.jp/chairmans-new-year-message2018/>

非常に高度な専門性を要する原子力発電の分野において、  
またしても**国の決定が、裁判所の判断によって覆されるということが起こりましたが、このようなことで本当に良いのでしょうか。**

日本はパリ協定において、温暖化ガス排出量の中期削減目標を2030年までに2013年度比で、つまり17年間で26%削減すると宣言した訳でございますが、併せて長期的目標として2050年までに80%削減すると宣言したわけでございます。

(中略)

**原子力発電所の再稼働・運転期間延長のみならず、  
新增設の検討を進めなければ、  
2050年にマイナス80%の目標は達成出来ません。その結果、  
日本が国際社会からの信頼を失いかねないわけでございます。**

昨今の世界情勢に鑑みますと、**エネルギー安全保障の観点からも、  
原子力発電所の必要性は増していると思えます。**  
ご承知の通り、日本のエネルギー自給率は、わずか8%に過ぎません。太陽光発電や風力発電には時間的な制約がございますので、これら発電方式がベースロード電源とはなり得ない、  
そういう中で、日本は、国民生活の安定のためにも、  
**原子力発電の比率を高め、国の安全保障に繋がるエネルギー自給率の向上を図る必要があると思えます。**

**原子力発電の必要性が、国民の中で根付くように、  
私共は業界一丸となって、  
さまざまな場所で理解活動を進めていかなければなりません。**

## 最後に一言

この人は「原発は安い」ということは言いませんでした。  
温暖化対策とエネルギー安全保障、そのために原発は必要。そんな話です。  
裁判所が運転差し止めの仮処分を出している件については

「非常に高度な専門性を要する原子力発電の分野」に素人の裁判官が口出すな、  
とっておいて、

「原子力発電の必要性が、国民の中で根付くように理解活動を進めて」いく。。  
要するに

国が必要って言うてるんだから、素人の国民は黙って言うこと聞け、  
って言いたいんですね、きっと。

もう福島事故はきれいに片付いて、原因もはっきりしたかのような言いつりですが、  
まだ日本は「原子力緊急事態」中であることを忘れちゃいけません。